



MIKUNI TDMR32 (ダウンドラフト)

ビッグキャブレターキット 取扱説明書

商品番号 : 03 - 05 - 0043 (キャブレターキット、アルミファンネル付)
 : 03 05 0044 (キャブレターキット、アルミファンネル無)
 : 03 02 0015 (インシュレーターセット)
 適応車種 : KSR110
 (Super Head 4VALVE +R ダウンドラフト専用キット 装着車専用)
 フレーム番号 : KL110A-000001 ~

- ・この度は、弊社商品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。

この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

商品を加工等された場合や取り付けされた場合は、保証の対象にはなりません。

他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

この製品は弊社製スーパーヘッド4VALVE+Rダウンドラフト専用キット(01 03 0127)及び178ccダウンドラフト専用シリンダーキット(01 04 0121)取り付け車専用となります。他の車両やノーマルヘッドには取り付け出来ません。尚、その他のシリンダーキットを使用される場合は、シリンダーの冷却フィンの加工が必要です。

この製品ではキャブレターを強制開閉で使用する事は出来ません。強制開閉で使用される場合は、別途強制開閉仕様のスロットルとスロットルケーブル1本が必要です。

この製品の取り付けには上記適応車種に合ったカワサキ純正サービスマニュアルを参照し、確実に作業を行って下さい。

この製品を取り付け使用すると水分等を吸い込み易くなるので雨天等の走行はしないで下さい。エンジン内部に水分が入り、エンジン不調の原因となります。又、洗浄時等はキャブレターやエアファンネルに水が掛からないようビニール等で覆って下さい。

キャブレターは、天候・気温・自然現象および車体差、キャブレターの個体差等によりセッティングを変更する必要があります。付属のオーナーズマニュアルに従い個々のエンジン、条件に合ったセッティングを行って下さい。尚、キャブレターは次頁記入の状態でお届けしております。

オーナーズマニュアルに記載されているベーシックセッティングデータとは一部異なります。

当製品はクローズドサーキット専用品です。各種規則に合わせてご使用下さい。尚、一般公道で使用することは出来ません。

走行前には必ず、キャブレターの作動状態に異常が無いかを十分確認してから走行して下さい。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。(部品の脱落の原因となります。)
- ・ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。
- ・エンジンの回転中は、キャブレター吸気管内を不用意に覗き込まないで下さい。(火炎が噴射することがあり、大変危険です。)

警告 この表示を無視した取り扱いをすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
- ・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が周りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、換気の良い場所で作業を行って下さい。

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

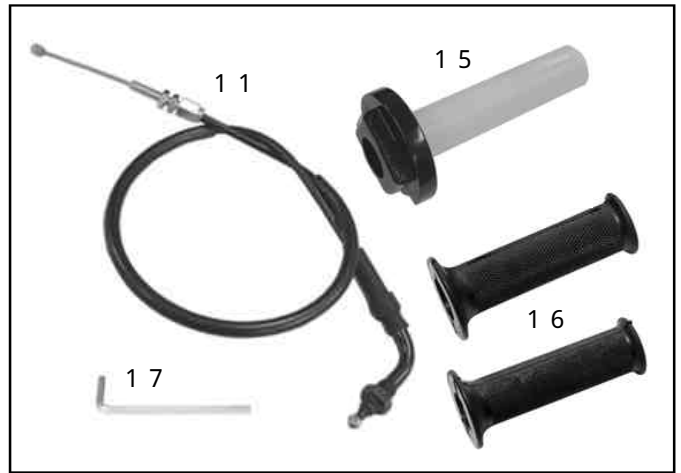
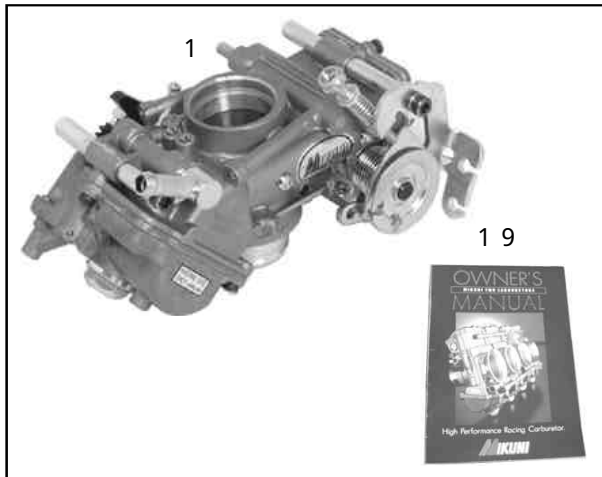
クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象なりません。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

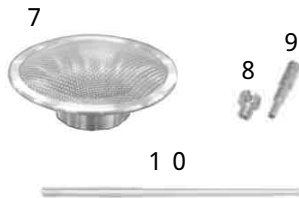
~ 商 品 内 容 ~

03 03 0018

03 06 0008



03 02 0015



| 番号 | 部 品 名 | 個数 | リペア品番 | 入数 |
|----|----------------------|----|---------------|----|
| 1 | キャブレターASSY. | 1 | _____ | 1 |
| 2 | キャブレターインシュレーター | 1 | 16212 181 T01 | 1 |
| 3 | ソケットキャップスクリュー 6×15 | 2 | 00 00 0042 | 10 |
| 4 | インシュレーターバンド | 1 | 00 00 0038 | 1 |
| 5 | スピゴットリング | 1 | 6214 TDM T00 | 1 |
| 6 | Oリング 35mm | 1 | 00 00 0427 | 3 |
| 7 | エアファンネル | 1 | 03 01 1118 | 1 |
| 8 | メインジェット #150 | 1 | 00 03 0225 | 1 |
| 9 | パイロットジェット #17.5 | 1 | 00 03 0227 | 1 |
| 10 | ジェットニードル #J8 9E12 52 | 1 | 00 03 0226 | 1 |
| 11 | スロットルケーブル 770mm | 1 | 17910 GFL T30 | 1 |
| 12 | フューエルチューブ 100mm | 1 | 00 03 0229 | 1 |
| 13 | 異径ホース継手(6mm 8mm) | 1 | 00 03 0220 | 1 |
| 14 | クリップ, チューブ | 2 | 00 03 0228 | 2 |
| 15 | スロットルCOMP. | 1 | _____ | 1 |
| 16 | スロットルグリップラバーセット | 1 | 09 02 0002 | 1 |
| 17 | 6角棒レンチ 3mm | 1 | _____ | 1 |
| 18 | 6角棒レンチ 5mm | 1 | _____ | 1 |
| 19 | MIKUNIオーナーズマニュアル | 1 | _____ | 1 |

リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。

出荷時キャブレター状態

| | |
|---------------|---------------|
| メインジェット | #200 |
| ジェットニードル | J8 9D03 52 |
| ニードルジェット | 785 40004 P 1 |
| パイロットジェット | #27.5 |
| メインエアジェット | N211100 0 |
| パイロットエアジェット | N211100 130 |
| スロットルバルブカタウエイ | 832 50001 1.0 |

[セッティングパーツ]

キャブレターキットに付属しているオーナーズマニュアルを参照して下さい。

～取 り 付 け 要 領～

～ノーマルキャブレターの取り外し～

水平で安全な場所で車両を安定させます。

フューエルコックを閉じ、キャブレターのドレンコックを開いてフロート室内からガソリンを抜き取ります。

1. 外装の取り外し作業

スクリーンを3本取り外し、左側のシュラウドを取り外します。

2. キャブレターの取り外し作業

(ノーマルキャブレターの場合) ノーマルキャブレターからトップキャップを外します。チョークケーブル、フューエルホース、配線の接続を外し、エアクリーナダクトのクランプスクリーンを緩めます。ボルト2本を取り外し、マニホールド/キャブレターを取り外します。

エアクリーナダクトをエアクリーナボックスから取り外します。

ノーマルとは別のキャブレターを取り付けている場合は、そのキットの説明書に従い、取り外して下さい。

エアクリーナーボックス



エアクリーナーダクト

3. スロットルケーブル及びスロットルハウジングの取り外し作業

スロットルハウジングのスクリーン2本を取り外し、スロットルケーブルをスロットルパイプから取り外します。

ノーマルスロットルハウジングにはエンジンストップスイッチがあります。取り外し、使用しない場合は処理を行い、使用する場合は別途スイッチを用意して下さい。

～キャブレターキットの取り付け～

これからの作業では弊社製ダウンドラフト専用シリンダーヘッドが車両に搭載されている事を前提とします。

1. スロットル及びスロットルケーブルの取り付け作業

キット付属のスロットルケーブルをフレームに通します。

キット内のスロットルケーブルをロアスロットルハウジングに通し、スロットルパイプにインナーケーブルを接続します。スロットルハウジングをハンドルにスクリーン2本で取り付けます。

スロットルパイプ摺動部及びケーブルエンド部、パイプのケーブル巻き取り部にグリスを塗布して下さい。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

トルク：5 N・m

(0.5 kgf・m)

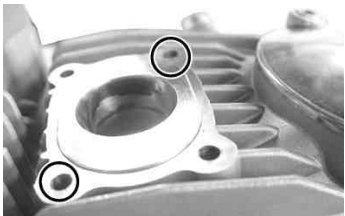
2. インシュレーター及びキャブレターの取り付け作業

シリンダーヘッドの丸印のボルト穴にインシュレーターをソケットキャップスクリーンM6×152本で取り付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

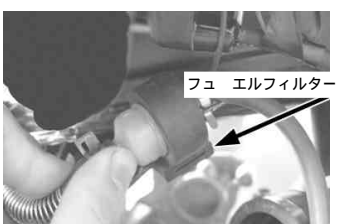
トルク：10 N・m

(1.0 kgf・m)



フレームNo. KL110A A05844～

(KL110A6F)の場合



フューエルフィルター

フューエルフィルターからキャブレターへのフューエルチューブの取り回しに無理が生じるので、フューエルフィルターをステータから外して下さい。

フューエルフィルターはタイラップ等を使用し、固定して下さい。キット内のスピゴットリングにOリング35mmを取り付け、キャブレターに付いているスピゴットリングと付け替えます。

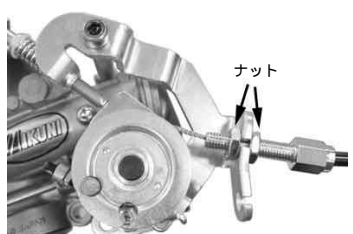
スピゴットリングのネジ部に液状ガスケット(スリーボンド1104相当品)を塗布して、確実にねじ込んで下さい。



エアファンエルをキャブレターに取り付けます。



スロットルワイヤーブラケットにスロットルケーブルを組み付けます。



ナット

キャブレターをインシュレーターに差し込み、バンドを締め付けて固定します。

スロットルグリッップ部で5mm程度の遊びが出来るようにスロットルケーブルのアジャスターを調整します。スロットルバルブの開閉状態を確認します。キット内のフューエルチューブをキャブレターに差し込みチューブクリップで止めます。異径ホース継手を用いてキャブレターとフューエルタンクからのフューエルチューブを接続してチューブクリップで止めます。フューエルチューブは適度に余裕がある長さに切断して下さい。クランクケースからのブローバイガスの処理は各自で行なって下さい。

ハンドルとスロットルパイプのグリッップ取り付け面と左右グリッップラバー内面の汚れや油脂分を取り除きます。

ハンドルとスロットルパイプにセメダインF540相当品を薄く塗布し、接着面が乾かないうちにグリッップを回しながら取り付けます。

スロットルグリッップを操作し、滑らかに作動するか点検して下さい。

付属のメインジェット及びロージェットは、178cc、2530Dカムシャフト、レーシングボンバーマフラー装着で、最適な選定をした物です。エンジンの仕様、気温、気圧等の違いでセッティングは異なります。

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

株式会社 SPECIAL PARTS 武川
TEL 0721-25-1357 FAX 0721-24-5059
お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857
URL <http://www.takegawa.co.jp>